

2017年度寮生・OB 合同クリスマス会のご報告

2017年12月23日、夕方午後5時から如水会館にて寮生・OB 合同クリスマス会が行われました。寮生とOB、そのお連れ様方に田代ご夫妻と多くの参加者がともにクリスマスを賛美いたしました。以下、当日の様子のご概略です。

出席者

齋藤金義 齋藤金男 齋藤恭子 佐々木信 佐藤周一 山本信義 堀地史郎
加藤順 宮岡五百里 関和義 西浦道明 縄田克之 田代洋志 田代信子
氏家和子 寮生 14名

クリスマス会は、第1部は講演会、第2部は①クリスマス礼拝と祝会の2つで構成されて行われた。

第1部 講演会 午後5時～6時

「大分県(豊後国)におけるキリシタン遺構について」という題の講演会が昭和54年卒の佐藤周一氏によっておこなわれた。大友宗麟とキリスト教の関係や戦国期における豊後国のキリシタン文化を紹介し、最新の研究も踏まえた講演であった。中でも興味深かったことは、禁教令下における隠れキリシタンならぬ「隠しキリシタン」についてである。形式的に棄教させながらも、藩主によって庶民のキリスト信仰が隠されていたという事実は興味深いものであった。

第2部 クリスマス礼拝及び祝会 午後6時～8時1

① クリスマス礼拝 説教 山本信義牧師

聖書朗読 ルカによる福音書 第1章 28節～38節

当寮のOBであり、現在八千代台教会の牧師である山本信義氏にクリスマス礼拝の司式及び説教を行って頂いた。マリアが御子イエスを宿したとき、「お言葉どおり、この身に成りますように」との聖書の表現が英語ではlet it beと表現されており、ビートルズの有名な**Let it be**と対比しながら、マリアが神の一人子を受け入れ、信じたことの意味をわかりやすくお話してくださいました。雪の女王の場合の表現は、**Let it go**となっており、Let it beとの違いについては、また、ここで何故雪の女王の話ができてきたのか、ビートルズのLet it beとの関連でどう結び付けて山本先生はお話されたのか、残念ながら僕の頭では良く理解できませんでした。今度、機会があれば山本先生によく伺いたいと思っています。

② 立食パーティ(祝会)

堀地史郎先輩(昭30年卒)の乾杯の音頭で立食パーティが行われた。例年は、立食のみであったが今年はカラオケが導入されたことが目目新しかった。寮生随一の歌自慢星くんの美声に皆が感嘆した後の齋藤理事長の歌声に皆が驚いたことは言うまでもなかった。そして、トリを飾ったのは川村くん。これぞ男子寮と言わんばかりの熱のこもった「浪漫飛行」であった。カラオケを導入したことによって近年稀に見る盛り上がりを見

せたクリスマス会であった。来年はもっとカラオケで盛り上がるのも良いのかな、と感じましたが、皆様は如何でしょうか？また、もっと、OBの先輩とそのご家族が出席されて、もっと賑やかにやれば良いとも思います。我々寮生も来年はガールフレンドを同伴するくらい、アットホームな雰囲気を作り上げたいと思う。最後に、反省というか来年行う場合、講演会は別の機会にもう少し質疑応答を含めて時間の余裕を持たせ、クリスマス会は礼拝説教の時間をしっかり設けて、キャンドリングなどを入れて、クリスマスの讃美歌を歌う機会を増やす構成にして、祝会はカラオケで盛り上げる、ビンゴゲームでのプレゼントなど余興を増やすと良いかなと思いました。来年の実施に向けて、ご参考としてください。

(文責 寮長大城幹雄)

